

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 21日

事業所名: 児童デイサービス スマイル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	0	・広いスペースが確保されているため、1つの部屋に密集しすぎないように、スタッフからの声かけ等対応を行っている。 ・利用児童の拡大にともない、活動時や遊びの中で接触による事故や怪我が発生しないよう、見守り、声かけを徹底している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2	2	・送迎時間帯等、職員数が減る時間帯も見守りや声かけを徹底し、事故トラブルの防止に努めている。 ・手薄になる場面も想定されるためさらなる工夫に努める。 ・スタッフ数については加配を原則としているが、必要十分とは言えない面もあるため、改善に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	2	・事業所が2階にあるため、階段での昇降が必要になり、児童によっては危険が伴うため、必ずスタッフの見守り、介助を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	4	1	・業務改善のため、定例会議内での振り返り、改善目標の設定を徹底していく。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				・初回 今回より公表。 ・評価内容をもとに、業務改善を行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業の会報やホームページ等で公開しているか				・初回 今回より公表。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	2	・新年度より実施を予定している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	1	・毎月1回研修計画に沿って、所内研修を実施。 ・外部研修への参加を促す案内や周知も行っていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	1	・定例会議のほか、必要に応じて臨時のアセスメント会議を実施し、スタッフ間での分析機会を設定する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3	0	・より活用しやすいアセスメントツールを検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	1	・活動プログラムは、当事業所の特徴である広いスペースを活用した運動療法を中心としているため、理学療法士スタッフを中心に決定しているが、より良いプログラム構築のため、スタッフからの意見を広く取り入れるよう努める。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3	0	・定例会議のほか、日々の活動のなかでの気づきや反省点を都度振り返り、プログラムの固定化を防ぎ、より良い活動プログラムの構築に努める。
	13	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	4	0	・利用児童の年齢や発達段階、障害の程度の応じ、個々の興味、関心を引くものを検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3	0	利用児童1人1人の特性を鑑みて、計画に反映している。定期的なモニタリングのほか、必要に応じて追加でモニタリングやアセスメントを実施し、より児童の状況やニーズにマッチした計画の策定に努める。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	1	・朝終礼の際、活動内容の整理や送迎の確認等、情報共有、役割分担の確認を徹底している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	1	・終礼時に当日の様子や出来事を共有し、振り返りを行っている。 ・利用児童の何気ない一言や、素振りなど、些細な事であっても変化を見逃さず、支援実践のヒントとできるよう努める。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	4	1	・日々の支援記録の作成方法について、再度検討する。 ・変化があった場合や、トラブル発生時のみでなく、日々のデータの積み重ねが支援につながるため、日常の様子の記録も行う。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	6	1	・スタッフへの共有を強化し、モニタリング、計画見直しの必要性の見極めを行う。 ・また、計画に基づき、事業所全体での支援を徹底する。
	19	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	5	0	・定例会議等でガイドラインの読み合わせを実施し、支援に反映する。
	関係機関や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	4	0
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2	0	・保護者との利用予約確認や、連絡帳での情報共有を実施している。また必要に応じ、公式LINEや電話連絡等個別対応を実施している。
22		医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	2	・該当なし。 ・今後、医療的ケア児の受入を行う場合に向け、医療機関との連携体制を構築していく。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	1	・保育所や幼稚園と連携を取り、情報共有を行っている。

や保護者との連携関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	2	・実績なし ・各関係機関との連携を取りながら、支援状況等の情報提供に努める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4	0	・地域児童発達支援センター等、専門機関の研修等をスタッフへ案内、参加を促し知識向上を図る。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	・新型コロナウイルスの感染拡大もあり、そういった機会を設けられていない。情勢を鑑みつつ、機会の創出を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	2	・参加はしているものの、業務都合により参加を取りやめる場合があるので、原則参加を徹底する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	0	・日々の連絡帳での情報共有や、個別連絡、送迎時の申し送り等、共通理解の構築に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	5	3	・スタッフへの所内研修を実施し、実践につなげていく。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	・見学時、利用契約時に徹底して行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	・保護者からの意見には丁寧に対応する。 ・保護者から相談を受けた場合は傾聴し、必要な助言を行う。また、スタッフ個別の判断での対応が難しい場合は、安易に返答をせず事業所全体で対応を図る。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	2	・新型コロナウイルスの感染拡大もあり、そういった機会を設けられていない。状況を鑑みつつ、保護者参加型のイベントや活動を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2	0	・適宜対応を実施している。 ・苦情につながる事のない運営、支援が前提のため、事業所の質の向上に絶えず取り組んでいく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	0	・毎月会報を作成し、予定の周知、行事の様子等の報告等、発信を行っている。 ・情報量が不足している面はあるため、改善に努める。
	35	個人情報に十分に注意しているか	8	0	0	・当社規定に則り、取り扱いには配慮している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉だけでなく、身振り手振りや、視覚的なアプローチ等を実施している。</li> <li>・保護者に向けては、就労されている方も多いため、電話や口頭での報告・連絡のみでなく、公式LINEやメールでの個別対応も行っている。</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大もあり、そういった機会を設けられていないため、状況を鑑み機会の創出に努める。</li> <li>・所在区への消防活動資金は提供している。</li> </ul>
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルは作成しているが、周知が徹底できていないため、再度周知に努める。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月避難訓練を定例で実施しており、各児童に非常災害時用の持ち出しセットを用意している。</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画に則り、研修を実施している。その項目として毎年虐待についての項目を設定する。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> <li>・やむを得ず身体拘束が必要となる見込みがある利用者を受入する場合は、事前にスタッフ間での協議を行い、対応を検討する。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通じて、医療機関との連携を図り、必要な対応を個別に実施する。</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの報告は必ず当日中に行い、振り返りと改善点の共有を徹底する。</li> </ul>

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。